

平成28年度 第2回岩見沢市まちづくり基本条例推進委員会 議事録(要旨)

●日時、出席者等

日時	平成29年3月21日（月） 午後3時00分～午後5時00分
会場	岩見沢市民会館「まなみーる」1階 多目的室2
出席委員等	委員9名 欠席1名
傍聴者	1名
事務局	5名

●議事録（要旨）

1. 開会

2. 委員長挨拶

（中田委員長より挨拶）

まちづくり基本条例の推進委員会、発足してまだ年数があまり経っておらず、委員会としての活動をまだ模索しているというような状況でございます。

岩見沢市の状況を見ますと、総合計画や総合戦略推進計画の中で、安定した行政の推進ということで、苦勞しながら進んでいるということと思います。

このような中で、皆さんご承知のことと思いますが、どうしても取り組まなければいけないというものに市の本庁舎のことがあります。災害に強いまちを目指すということでいうと、庁舎は断層の上にあるようで、いざ断層が動いたら大変な被害になります。老朽化も進んでいることから、市では庁舎の建替を検討しており、議会でも議論されております。また、今後は、市立病院やスポーツセンターといった建物についても建替や移転という話が出てくるのかなと思っております。

また、公共交通の見直しについても取り組んでいる最中ということで、今年の10月秋くらいには市内の路線バスの見直し計画が発表されて、実施されるのではないかと伺っております。

このような状況であります、市民目線においてこの委員会はどういう活動するのか、あるいはどのような意義を持っているのか、というようなことをまだまだ知らない方がたくさんおられるのではないかと思います。この推進委員会がこれからますます市民のための推進委員会になるようなことを目指していかなければならないと思っております。

そういう意味で、今日も皆さん方のご意見をいただきながら、今後の活動についても、意義あるものにしていきたいと思うところであります。どうぞよろしくお願い申し上げまして、冒頭のご挨拶といたします。

3. 議題

（1）まちづくり基本条例の推進について

（事務局から説明）

これまで開催しました委員会の場におきまして、基本条例とは何か、市ではどんな事業が行われているか、などについて説明をさせていただき、皆様からご意見などいただいております。

委員の皆様の任期も折り返し時期を過ぎ、これまでの委員会での議論を踏まえ、この委員会の趣旨であります基本条例を進めて行くにはどうしたらいいか、また、どのように市民、議会、行政が連携してまちづくりを進めて行けばいいか、という点につきまして、本日は議論いただく機会になればと考えております。

なお、今回の議論を円滑に進めさせていただくため、開催の案内に併せて事前に皆様からご意見などをいただいております、お手元に資料として配布させていただいております。

順にご紹介させていただきます。

(資料に基づき紹介)

以上で、ご意見等の紹介を終わらせていただきます。

(中田委員長)

非常にいいご意見をいただいていると感じておりますが、この内容を踏まえて議論をしてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは項目1の「市民の方に条例をより周知していくにはどうしたらいいでしょうか」ということについてはいかがでしょうか。

(委員からの質問)

条例について市民の方はどれくらい知っているのでしょうか。

(事務局)

調査などは実施したことはありませんが、検討させていただきます。

(委員からの意見)

PRを兼ねてアンケートのようなことを行ってみるっていうのもいいかと思います。

(中田委員長)

それでは項目1については、いただいたご意見などを踏まえて、これからまた根気よく市民へ周知していくということにさせていただきます。

次に項目2の「より多くの市民がまちづくりに参加・協働するには何が必要でしょうか」ということについてはいかがでしょうか。

(委員からの意見)

広報いわみざわに載っている「みんなのひろば」だとか「情報ひろば」とか、とても行ってみたい情報が多く掲載されており、そういうものに参加するだけでも市民としてまちづくりに参加しているという、喜びを感じていただければいいのかなと思います。

それがまちづくりに参加したことになるのかという疑問もあるかもしれませんが、幾つもやるというのではなくて、1つでもいいから参加してみる、来月はこっちをやってみようとか、そういうふうになっていったらどうかと思います。

(中田委員長)

あまり堅く考えず、こういうことがあるから参加してくださいという軽い気持ちで事業を組むということも必要かと、それが将来のまちづくりに繋がっていくのではないかと思います。他に無ければ項目2については終了とさせていただきます。

次に項目3の「議会の取り組みについてはどう思いますか、また、より進めていくにはどのようなことが必要でしょうか」ということについてはいかがでしょうか。

(委員からの意見)

この委員会が出た意見については、議会や市で参考にするというようなことはあるのでしょうか。

(事務局)

もちろんです。この議会については、今回の委員会で初めてお聞きした内容ではありますが、これまでの委員会の中で色々のご意見をいただいた部分に関しては、それぞれの部署に伝えさせていただいており、出来る範囲である程度改善はされているところもあります。今回いただいた議会の部分に関しても、議会事務局を通じて改善できるところは善処してもらうよう伝えさせていただきます。

(委員からの意見)

議会の傍聴をもっと市民に勧めてはとありますが、どのくらいの人が傍聴しているのでしょうか。

(事務局)

多い時だと十何人はいますが常時は数名です。

(中田委員長)

より進めていくには、どのようなことが必要かというのは非常に大事なことです、議会の運営とか詳しく知らないと中々言う事は出来ないかなというふうに思います。議会のことを勉強しながら、またご意見をいただくということで項目3については終了とさせていただきます。

次に項目4の「行政の取り組みについてはどう思いますか、また、より進めていくにはどのようなことが必要でしょうか」ということについてはいかがでしょうか。

(委員からの意見)

シティプロモーションっていう活動がよく分からないのですが、市の若手の人が具体的にどんな活動をしているのか教えてもらえたら、もしかすると若い人たちに周知していきたいというのと繋げて何か発信できるのかもかもしれません。

(事務局)

シティプロモーションというのは、簡単に言えば、まちをアピールするということです。今、人口減少が叫ばれておりますので、市に住んでもらう人を増やす、あるいは、まちに来てもらう人を増やす、そういった部分に重きを置いて市のPR活動をする、ということがシティプロモーションということになります。

市の取り組みとしては、特に部署を決めているわけではなく、若手を中心に、数名で横断的に組織してシティプロモーションのことに取り組んでもらっています。これまでの活動の一例としては、市民や市に関わっている方々に集ってもらい、岩見沢の良いところを出し合い、それについて議論するというワーキンググループを数回開催するなど、色々な活動に取り組んでもらっております。

(委員からの意見)

若い方の間ではすごくSNSが利用されていて、Instagramとかもそうなのですが、やっぱりそういうことを利用した方がみんなに発信は出来ると思います。

(事務局)

シティプロモーションはFacebookのページがあります。もしFacebookが見られるのであれば、ご覧になっていただければと思います。

(委員からの意見)

先日、まちの記録ライブというのがあったのですが、その時に岩見沢のプロモーションビデオが上映されており、上映後は拍手がおきておりました。自分のまちが映ると嬉しいというものもあるでしょうが、住んでいる人自身があまりよく知らないでいるところもあるので、そういう意味でもこのような活動が、もっともっと活発になればいいですね。

(中田委員長)

私も委員も行政の取り組みについて、どのようなことが必要かという前に、岩見沢がどういうまちなのかということ、ある程度よく知ることがまず必要ではないかということですね。

項目4については、事前にいただいているご意見などを含めながら、進めて欲しいということで終了とさせていただきます。

それでは、最後に項目「その他条例の推進について全般的に何かありましたら」ということについてはいかがでしょうか。

(委員からの意見)

推進委員会の先進地視察や勉強会の実施という意見がありますが、この条例の制定段階で市民会議があり、その中で他市の制定状況については聞いていたのですが、条例の詳細や実際に中身はどのようなのかという細かいこと、現在はどうなっているのか、どういう取り組みをしているのか、という点について、ちょっと知りたかったのですが、お聞きする機会がありませんでした。

現在、まちづくり基本条例推進委員会になっておりますが、やはり我々も先進地というか早くに制定をされている地域の実態を知るとか、そういう事が必要ではないかと思います。

それから、改めて我々10人も、このまちづくり基本条例の本来の趣旨、それをもう一度勉強し直すというか、見つめ直すというか、本来何を言わんとしているのかという部分を再度認識する必要があるという気がしています。

ですが、このテーマというのは抽象的なものが多く、目標などは非常に立てづらいですが、本来は、やはり人と人との関わり、隣の方やご近所さんとの関わり、あるいは、町内会・自治会との関わりという相対的なものが出来上がって、まちづくりが出来上がっていくものじゃないかなと思います。

そういう意味で、例えば先進地というか先に条例を制定したところへ我々が行くのも良いですし、あるいは向こうから講師として来ていただいて、お話を聞くとか、そういう機会が持てないかなと個人的な希望があります。白老町とか早くから条例を制定している地域もありますので、もしそういう事が可能であればと思います。

(中田委員長)

考え方は2通りあるかと思います。

白老町の話がありましたが、白老町は財政再建寸前まで行ったそうです。そこで、このまちづくり基本条例を作ろう、そしてまちをもう一回立て直そうということから始まったそうです。町が大変だという動機があって取り組むというようなこともあると思います。

しかし、今の岩見沢市の状況ですと、市民の皆さんには差し迫って大変だというような認識ではないですね。そういう中で、まちづくりをどうするかということになると、今、お話があったような人と人との繋がりをより大切に強くすることが、地域のまちづくりに繋がるのだという見方もあるということですね。今、岩見沢はそういうところが大事なことじゃないかということですね。

(委員からの意見)

来年度にまちづくりに対してどういう活動をするのか、何かあるのでしょうか？

(事務局)

まちづくりというのは、非常に広義な話題になりますので、これまでの事業を継続してやっていくのはもちろんですが、この委員会でいただいたご意見等を踏まえて、今後どのような事をしていかなければいけないかということも考えていかなければと思っています。

(中田委員長)

どういったことについてよく重点を置いて取り組んでいかなければいけないのか考えていかなければならないですね。

(委員からの意見)

上幌向地区と緑が丘地区が早くに住民自治のモデル地区ということで、先進的な活動を展開されたというようなことを聞いているのですが、講師としてお話しいただくことができるのでしょうか。

(中田委員長)

岩見沢市全体の町会活動を見れば、一生懸命やっているように見られるのかもしれないですね。

今、町内会活動について、自ら事業を持って活動しているというところは非常に少なくなってきました。市からの配布物を配って終わりというところが多くなってきました。敬老会や高齢者のお食事会などの活動でさえ出来ないところが多くなってきました。地域としての大きな問題があると見ております。

私どもの上幌向地区は、まだ若い世代というか中年ぐらいの方がたくさんおり、一生懸命取り組んでくれているということでは取り組みの紹介は出来ると思います。

岩見沢市全体のまちづくりの中で町会の活動がどういう状況なのかということも掴みながら、まちづくりや町会の果たす役割を考えていかなければいけません。少子高齢化時代になり、活動自体が難しくなっている中で、いい手だてが中々見つからないということがあります。

(委員からの意見)

今、委員長のお話の中にありましたが、少子高齢化によって町会等を維持すること自体が難しくなっていますよね。行事を行うにも人手が足りず、町会維持だけではなく、このまちづくり基本条例の制定の本来の意味を損なうのではないのかなという気がしています。

やはり、自分たちでやれることは自分たちでやろう、そのためには周りに声かけ、自分も本気になって地域を維持してこう、あるいはまちを維持してこうということに繋がるのではないかなという気がします。モノを作るのではなくて、人をつくる、それがまちづくりに繋がってくのではないかなというイメージを持っております。

(中田委員長)

そうですね。それぞれの考え方を尊重していかなくちゃいけない時代の中で、これが必要なのだということをみんなが意識してもらえるかどうか的大事ですね。そういうところに意識を持っていけるような活動が必要でしょうね。

ということで、項目5については、これで終了とさせていただきます。

(中田委員長)

以上を持ちまして、議題（１）のまちづくり基本条例の推進については終了させていただきます。

4. その他

(事務局)

次回の開催については、新年度に改めてご案内させていただくことになりますが、他市の取り組みや勉強会というお話もいただいておりますので、基本条例を作ったほうがいいのか、どの方向に進んでいけばいいのか、また、条例を推進していくための目標といったことも考えていかなければなりませんので、その際は、改めて皆様にご相談させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(委員からの意見)

この間、知り合いに三世代で住んでいる方がおりまして、そこの娘さんが、いま岩見沢市は子育てに良いところだよという話をされていたので、凄くうれしい気持ちになりました。ちょっとお伝えしたいなと思ひまして。

(中田委員長)

ありがとうございます。

他に無ければ私から報告をさせていただきます。

私事ではありますが、町会連合会の会長の職を今年度で退くことになり、この委員会も退くことになりました。来年度は新しい方が所属することになりますので、よろしくお願いいたします。

さらに、森村委員さんも転居により岩見沢市から離れることとなり、この委員会を離れることとなりますので、よろしくお願いいたします。

(中田委員長)

その他、特に意見や質問はありませんので、第2回岩見沢市まちづくり基本条例推進委員会を閉会いたします。

5. 閉会